

- 国際う蝕分類・管理システム ICCMS 支援アプリ習得 -

---

1. ICCMS の内容は、歯科教育において重要と思われませんか？

非常に重要	9/15 (15名中9名)
重要	6/15
あまり重要でない	0/15
重要でない	0/15

2. ICCMS の内容で、ご自分の考えと一致しないところがありますか？

たくさんある	1/15
いくつかある	4/15
ほとんどない	3/15
全くない	7/15

3. 本日紹介した ICCMS アプリを、今後の教育や臨床に利用したいですか？

はい	14/15
どちらともいえない	1/15

4. ICCMS を、あなたの教育や臨床に導入する場合、障害となるのはどのような事ですか？

- 1) セキュリティ問題
- 2) 大学病院としての使用する場合の指針
- 3) データの管理
- 4) 入力に要する時間的要素と導入費用
- 5) 学生の学力、入力結果の煩雑さ
- 6) 教育→国家試験レベルには情報量が多いような気がします。臨床→評価者の認識レベルの違いによる差異。
- 7) 時間がかかる場合がある恐れがある
- 8) 臨床では、電子カルテに入れられると利用範囲が広がると思いました。
- 9) 入力に要する時間。データベースとして論文等に活用したい。
- 10) 特になし
- 11) う蝕管理に保険点数がない → 実際の臨床でのICCMSの導入は、歯科医師の価値観に委ねられる → 教育現場で教えても、臨床現場で活用されていない知識となってしまうつまり、う蝕の保険診療での管理がないことが障害の一つと考えます。

5. その他、修正点、改善点など、コメントありましたらご自由にお書きください。
  - 1) 修復物の材料選択の種類を増やしてほしい。
  - 2) 勉強になりました。ありがとうございました。
  - 3) すごく勉強になりました。
  - 4) 歯の記録状態の右下のメニューがカスタマイズできれば嬉しい。簡易版があれば臨床現場でも使いやすいかも。  
総じて、よくできてると思います。ありがとうございました。
  - 5) リスクの判定のヘルプがあるとわかりやすいかと思いました。
  - 6) とても勉強になりました。すでにう蝕マネジメントを実施していますが、さらにアップデート出来ました。今回のアプリ についても導入を検討したいと思いました。
  - 7) ICCMSのデータは患者の個人を特定する個人情報以外は、ACFF日本支部が統計データとして使用して現状と課題を把握し、当会が目指す「2026年(2030年)以降に生まれる子供たちは生涯にわたりう窩をつくらない」を実現する施策の計画、遂行を実施すべきと思います。
  - 8) 臨床で活用しやすく、学びのツールとしても役立つアプリを作成していただきありがとうございます。